



半田市議会議員の市政あれこれ

こいでよしかず義

39

発行日 平成 29年 5月 1日

事務所〒475-0828 半田市瑞穂町 5-3-18

連絡所〒475-0078 半田市新池町 2-201-22

市長選を前にして 市政の課題を考える!!

市長選挙は政策選択の機会

半田市長選挙は、6月4日に行われます。現在、現職の他2名が立候補を表明しています。新人2名は、病院の建設場所に反対を表明しての出馬のごとです。

市長選挙は、半田市の将来像を実現するための政策を選択する機会です。病院の建設場所の賛否が争点ではいけません。選挙を前に、半田市の課題を整理してみます。

重要課題は人口減少対策!!

いま、人口減少が社会問題となっています。人口減少は税収減にも繋がり、社会保障の崩壊やインフラの整備不良など様々な問題が発生します。半田市政に於いても、要因となる事柄を取り除き、急激な人口減少を回避する政策が必要です。

半田市では臨海部に企業を誘致し、財政基盤の強化を図ってまいりました。近年、この企業を中心に雇用の場が拡大されています。2年ほど前から、30歳代男性の転入が増加しています。多くは単身者のよう



単身者の方が定住し家族を持つようになれば、人口減少に歯止めをかけることができます。そのためにも、女性が働きやすい雇用の拡大も重要です。

赤レンガ建物は観光拠点に

半田市は、「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を、観光資源として誘客するべく取り組んでいます。観光産業には、郷土の土産品や飲食店が不可欠です。その他にも関連する産業は、多岐に回ります。多くの方が訪れる街になるべく、魅力づくりを積み重ねることで、街全体の潤いづくりにも夢ではなくと思えます。同時に女性の

雇用拡大にもつながります。

赤レンガ建物は、その観光のランドマークとして位置付けられています。半田病院の建設候補地とするのではなく、観光拠点としての役割を優先すべきと考えます。

病院は早期建設が課題です

病院の建設候補地については、ベストを求めれば時間と費用がかかります。災害対応については、建物は免震構造で対処し、護岸工事と液状化対策を施すことでクリアできることです。一刻も早く、最新の医療設備の整った半田病院を建設することが大切だと考えます。



市長選挙は 神原すみお氏を推薦します



8年間の実績をさらに進んで

神原純夫さんは、6月4日投票の半田市長選挙で3期目を目指しています。過去8年間を振り返りますと、実に多くの実績を残しています。先ずは、840億円あった市の借金を490億円に削減、懸案であった市役所庁舎建設、JR武豊線高架化事業決定、赤レンガ建物の常時公開などがあります。そして何より、市民協働を大きく前進させ、新しい時代の行政の姿へと変革に踏み切った点があります。次の四年間で、市民協働をさらに進めて頂く事に期待します。そして、企業誘致や観光振興で産業構造の強化や定住促進に取り組んで頂きたいと考えます。

ざだん会から地域づくり計画へ...



市民の立場で地域づくりを

去る2月25日に、瑞穂記念館で「まちと地域を語るざだん会」を開催しました。市政全般の報告、地域の課題をテーマとさせて頂きました。この中で、これからのまちづくりは、地域の視点を大切にすべきとの声が多く、今回参加頂いた方々を中心に有志で地域づくりの計画をまとめることになりました。今後、この取り組みを進めてまいります。審議結果は、区を通して市と協議して頂く方向で進めてまいります。まちづくりを地域から考える取り組みは、これからますます進んでまいります。

政務活動費使用報告

厳格な規定を設けました

半田市議会は政務活動費の制度を改め、28年度から十年ぶりに復活しました。新制度は、「事前事後の審査」・「一円からの報告」・「用途のホームページ公開」など厳格な規定を設けています。

私は、視察や勉強会の開催などに使わせて頂きました。必ず、成果を出してまいります。

日付	目的	支出内容	金額
7/20	子どもの貧困対策	研修会講師謝礼	3,570
10/14	議会報告会	会場使用料	687
12/20 ~21	評価システムのあり方	研修会交通費	13,290
		研修会宿泊費(大阪)	10,900
		手土産	270
		講師謝礼	3,666
1/18 ~20	学校給食の管理運営及び食材供給システムの調査	交通費	25,490
		宿泊費(君津・富士)	13,474
		手土産	1,233
合計			72,580

気軽に意見を寄せ下さい。

Tel&fax: 0569-58-0967 E-mail: y-koide@cac-net.ne.jp